

# マスト・ブームストッパーの装備方法について

2006.11.8

日本 470 協会

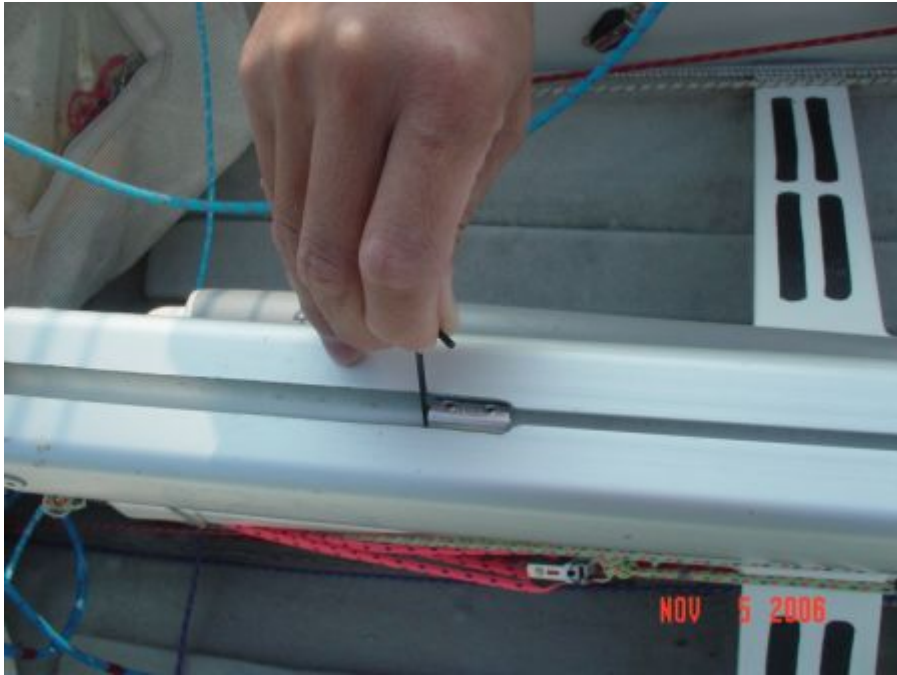
2006年のクラス規則改定を受け、全国からマスト・ブームストッパーの装備方法についてご質問をいただいております。しかしながら、現行クラス規則では具体的な装備方法および材料等を指定していませんので、各艇オーナーの責任において任意の方法で装備いただくのが原則となります。なお、取付にあたってはセールのボルトローブ端部の形状やセールの変形を考慮し、ストッパー位置を調整する必要がありますので十分ご注意ください。

なお、具体的な装備例としては、グループ部分をリベット加工する例、セージング加工する例、タッピングねじで加工する例、ボルト+ナット+ワッシャーで加工する例などが考えられます。また、製品として(有)トータルプラントさんでストッパーを製作・販売しているとのことです。(他のサプライヤーさんに関しては現在情報がありません。)

参考例として、以下にトータルプラント(以下「TP」という)製品を用いたストッパー装備を紹介します。



現在、TPストッパーには、細タイプ(TPマスト等:グループ径が小さいタイプに用いる)と太タイプ(ヤマハ学連マスト等)があるそうです。この写真は太タイプのものです。ストッパーは六角ボルト×2箇所固定する仕様となっています。



この写真は、ストッパーをブーム(スパー)のグループに通しているところです(基本的にマストの場合も同様の作業となります)。ストッパーをずらしながら任意の位置に持って行きます。



この写真は、ストッパーをブラックバンド付近の任意の位置までずらし、六角ボルトで締め込んでいる状況です。これで作業は完了となります。



この写真は、細タイプのストッパーです。六角ボルト×1箇所+タッピングねじ×1箇所で固定する仕様となっています。



この写真は、細タイプのストッパーをブーム(先と同じスーパー Spacer)にセットした状態です。



この写真は、別の艇の例です。プロクターブームに細タイプのストッパーを用いています。セールのボルトロープ形状およびセールの変形を考慮し、ストッパー固定位置をブラックバンドよりも前にオフセットしている点にも注目して下さい。